

真言宗豊山派

蓮光院 季刊寺報

柏崎市米山町2260 (0257-26-2109)

編集・文責 中村 浄光

采三寺記

さい

じ

き

平成29年12月 再刊8号 (通刊17)

29秋 ~

彩寺記は ホームページにも 掲載されています renkoin.com/

1年間お疲れさまでした。良いお年をお迎えください。

～ 年末年始のお寺の行事 ～

- ◇ 12月31日 除夜の鐘撞き 午後11時45分から
◇ 1月元旦 はっさき地蔵堂初護摩 午前10時から
◇ 1月3日 お寺年始・檀信徒総会 午前10時30分から

▲▼台風21号大暴れ・・・被害甚大▼▲ ～ 竜巻を連れてやって来た! ～

蓮光院 被害箇所

- 1. 本堂破風軒天上板破損 東西とも
2. 本堂風よけシートの破損
3. 客殿屋根瓦の破損 (神社の倒木による)
4. 山門塀瓦破損 (銀杏の倒木による)
5. 風除けトタン塀の破損 (神社の倒木による)
6. 客殿脇通路屋根ポリカトタン破損
7. 地蔵堂屋根水煙破損
8. 電話線、TVケーブルの断線

子どもの頃に体験した第2室戸台風以来の大物でした。



マユミ 今年最後の“お化粧”

11月半ばというのに雪が降り出すなど自然界の狂い様は半端ではないですが、木々によってはいつになく素晴らしい色づきで秋を装ったものもありました。

●● 孫の気持ちを想い・・・がんばる ●● ～ あるお姑さんの日々 ～

若くして世を去ったお嫁さんには3人の子どもがいました。中学生、小学生、幼稚園どの子も素直な良い子どもで一家の自慢でした。

これ以上の哀しみがない中を子ども達が涙をこらえ、けなげに一生懸命生活している姿にお姑さんは決意されたようです。母親にはなれないけれど子ども達の気持ちの中に、いつも母親が見守ってくれているような温かい家庭の雰囲気をつくってやりたい・・・

決して容易なことではありません。親であれば時には叱らなければならぬこともあります。親の代わりであるからとて、手を抜く訳にはいかないこともあるはず。喜びは勿論、責任の重さ、辛さ、苦悩の日々もあったことと想います。

下はお姑さんの句

今日もまた ママの写し絵 微笑みて
家族の一日 祈るが如くに (大塩すみ子)

子ども達は母の写し絵(み影)に見守られ、家族に大事に育てられて、立派に成長し続けています。この家族の絆、支え合い、愛しみ合うことの日々は仏さまの説かれるもっとも大事なひとの道であると思っております。



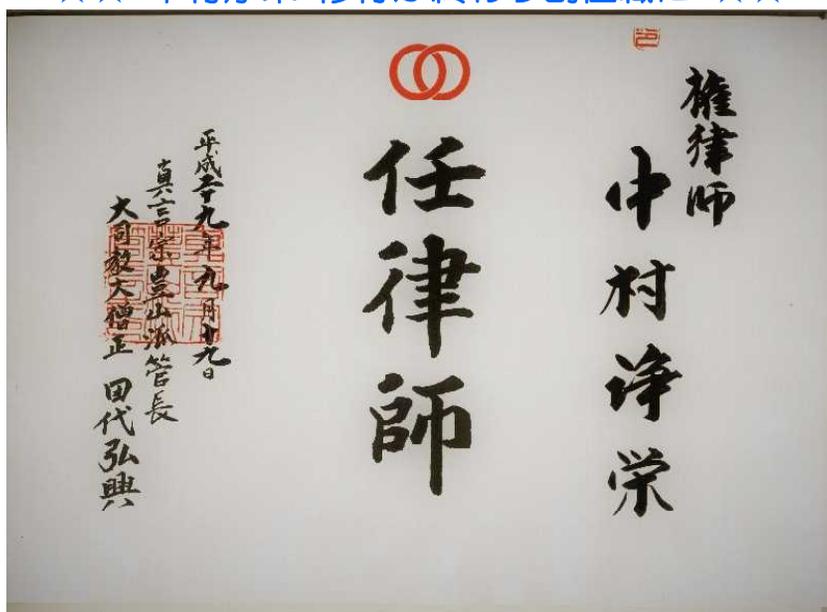
夏の銀杏の伐採に続いて、今回の台風で海側の風を防ぐ樹々が激減してしまいました。この先が思いやられます。3週間かけて業者、住職、役員による作業で、11月5日にすべて修理を完了しました。被害総額 約21万円でした。



梵鐘

はえ7。にとのをいとま
鐘迎5す後年すみ祝いい
のにらで年0ま傷おたて
今たか目36り、ししえ
新て年 はなで直を考す。

★★ 中村浄栄 修行が終わり副住職に ★★



お陰をもちまして6年がかりで一連の行が終わり僧階をいただきました。位は15階の下から2番目「律師(りっし)」を拝命し、合わせて副住職に任命されました。この後はしっかりとお寺の仕事を覚えて欲しいところです。

●～○ 法事・上げ齋供養等をなされた方々 ●～○ ～ ありがとうございます ～

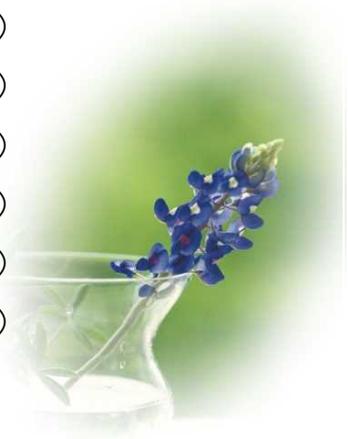
【29年度】

1/22 室賀 昇 様	6/3 遠藤 清 様	8/22 村上康子 様
1/23 見竹美智代 様	6/18 大塩 茂 様	9/17 薩美富太郎 様
2/12 西村秀春 様	6/18 村山充明 様	10/4 船山琢郎 様
2/19 見竹治政 様	7/2 西村広一 様	10/7 丹羽 収 様
2/26 池田 武 様	7/24 西巻美夫 様	10/8 夏目芳孝 様
5/6 坂田ヒデ子 様	8/5 平野良雄 様	11/5 武井義明 様
5/27 西村正一 様	8/11 武井勝則 様	11/11 武井昭男 様
6/2 武井辰夫 様	8/13 大谷 実 様	12/25 西巻正和 様

・・・★ お悔やみ 29年度 ★★・・・

ご冥福をお祈りします

1月10日	村山 昂 様 (94)
5月21日	大塩修子 様 (92)
7月31日	西村正晴 様 (76)
8月21日	西巻 清 様 (54)
10月 7日	吉崎貞夫 様 (79)
11月17日	武井ミツ 様 (91)



住職のひとりごと・・・

鐘の聲

こえ

午後5時

米山の里に一筋の糸のように鳴りわたる鐘の聲
低くもなく 高くもなく
田舎の風に乗る控え目な音

昭和8年

鉢崎大火からの復興の励みになればと
真っ先に建立された鐘楼
その後 戦禍で鐘の供出へ
新たに鐘を迎えたのは昭和35年
皇太子殿下のご成婚記念でした

あれから56年

今も変わらずに流れるその音
暮れなずむ頃に聴く鐘の 聲
里人の胸にどのように染みてきたのでしょうか
日常の喜びやしあわせの中に
哀しみや辛さの中に・・・

さまざまに 人びとの切ない想いの中を
一筋の風のように流れていたはず

時代も流れ もうこの音の存在すら
気づかずにいるのかもしれない

遠い記憶を秘めながら
鐘の音は
季の暮れを告げて流れます

(蓮光院ホームページ28年12月に掲載したもの)

現在も『住職のひとりごと』の中でバックナンバーとして掲載

☆ 年末年始のご準備は始まりましたか？ ☆

慌ただしい師走は、するべき事をあれこれ考え挙げれば切りがありませんが、盆・暮れ共通の大事な一仕事があります。お仏壇、神棚の掃除です。

- 1 お仏壇の埃を払いましょう。金箔部分は毛ばたきのような物で軽く払います。布でこすってはいけません。
- 2 拭けるところは濡れ布巾で拭きましょう。特に供物などを載せる台、また、経机などは綺麗に拭き上げてください。
- 3 お供えする線香、ロウソク、新しい花を用意します。年越しのご馳走や鏡餅をお供えします。
- 4 神棚も同じことです。器物を良く洗い、しめ飾り、ロウソク、サカキ、お神酒などを供えます。
- 5 新しいお札、お守り等も所定のところに飾ります。

これらが整った後でご家族でお参りをし、年越しの団らんを囲んでください。



水雨に耐える 万両